

週刊 タバコの正体

第14話

次に示す、都道府県別の数字は何を表わしていると思いますか。

2009年1月

東京・・・3,768
 愛知・・・1,416
 大阪・・・1,332
 神奈川・・・978
 京都・・・809
 兵庫・・・752
 奈良・・・110
 滋賀・・・95
 和歌山・・・17

：
 全国・・・12,631



2012年7月

東京・・・6,964
 愛知・・・5,217
 大阪・・・2,313
 神奈川・・・2,626
 京都・・・2,510
 兵庫・・・1,535
 奈良・・・381
 滋賀・・・208
 和歌山・・・83

：
 全国・・・30,032

じつは“禁煙飲食店の数”です。

空気がキレイでタバコくさくない店で食事を楽しみたい人向けの情報提供サイト「禁煙スタイル」に掲載されているデータから引用しました。3年半前と比べて3倍近くも増えて、今や全国で3万店以上の飲食店が禁煙です。

そもそも、タバコの煙とニオイが充満しているなかで食事をする事自体が健康的ではありませんし、せっかくの料理を不愉快な思いをしながら食べるのは、おかしな現象ですよ。

もし、多くの人が利用する電車やバスが禁煙じゃなかったかとしたらどうでしょう。そんな電車やバスには乗りたくないと思うはず。同じように、多くの人が食事をする場所も禁煙であることは当然だと思いませんか。

受動喫煙の被害をなくす動きや、喫煙者が減ってきている現在、電車やバスと同様、飲食店も“禁煙”が普通になりつつあります。

一生タバコを吸わないいつもの君たちにとって、歓迎すべき時代に向かっていきます。

産業デザイン科 奥田 恭久